

平成30年度

2年次(現1年次)
商学部ゼミナールⅠ紹介誌

[2次募集以降]

九州産業大学 商学部
商学科

ゼミナールの履修について

I. ゼミナールとは

- ゼミナールとは、指導教員の専門分野を少人数で学習する授業です。
- 具体的な学習内容は、プレゼンテーション、特定のテーマについての研究、専門書の輪読、グループ討論などです。ゼミナールによって学習内容は異なりますので、詳細はゼミナール紹介誌を読んでください。

II. 2年次以降のゼミナール

- 2年次：ゼミナールⅠ（通年4単位）
- 3年次：ゼミナールⅡ（通年4単位）
- 4年次：卒業論文ゼミナール（通年8単位） or ゼミナールⅢ（通年4単位）

III. ゼミナールの履修に関する注意事項

- ゼミナールⅠ、Ⅱは選考があるため、必ず希望するゼミナールに所属できるとは限りません。
- 4年次の卒業論文ゼミナール or ゼミナールⅢは、ゼミナールⅡの担当教員が受け持つことになっています。ゼミナールⅡの担当教員が4年次に卒業論文ゼミナール or ゼミナールⅢのどちらを開講するのかはゼミナールⅡの選考時にゼミナール紹介誌などで確認しておく必要があります。
- 卒業論文ゼミナール、ゼミナールⅢは、ゼミナールⅡの単位を取得しないと履修できません。
- 4年次の卒業論文の単位を取得するためには、決められた期間内に卒業論文を提出しなくてはなりません。
- ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ、卒業論文ゼミナールは、商学科と観光産業学科の共通の科目なので、商学科の学生が観光産業学科のゼミナール、観光産業学科の学生が商学科のゼミナールを受講できます。また、商学部第一部と商学部第二部の間で他学部受講が認められています。

ゼミナール選考の流れ

【 2 次 募 集 】

■ 3月12日(月)～16日(金)：エントリーシート提出期間と「選考詳細」掲示

- K's Life または 1号館 8階の商学部事務室前（または渡り廊下）にある箱からエントリーシートを入手し、エントリーシートを作成して下さい。
- 作成したエントリーシートは、3月12日～16日の期間内に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

投函箱設置場所	建物・階	受付時間	
		平日	土曜日
商学部事務室前	1号館8階	9：00～16：30	9：00～12：00
教 務 課	1号館1階	17：10～21：00	9：00～12：00

- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、3月12日以降、8階の各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従って下さい。
- 3月12日に8階の各教員の研究室の扉に2次募集用「面接時間予約表」を掲示します。
- エントリーシートには、各教員の面接時間予約表に記載されている「面接時間予約番号」を必ず記載して提出して下さい。

■ 3月19日(月)～23日(金)：面接日と結果発表および3次募集の有無の発表

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 2次選考の結果は、3月23日までに教員の研究室の扉に掲示されます。同時に、その教員が3次募集を行うか否かが掲示されます。3次募集を希望する学生は、その希望するゼミナールの担当教員が3次募集を行うか事前に確認しておいてください。

【 3 次 募 集 】

■ 3月23日(金)～：「選考詳細」掲示

- 希望するゼミナールの担当教員が3次募集を行うか事前に確認しておいてください。
- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、3月23日以降、8階の各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従って下さい。

■ 3月24日(土)～27日(火、12:00まで)：エントリーシート提出期間

- K's Life または 1号館 8階の商学部事務室前（または渡り廊下）にある箱からエントリーシートを入手し、エントリーシートを作成して下さい。
- 3月24日に8階の各教員の研究室の扉に「面接時間予約表」を掲示します。
- エントリーシートには、各教員の面接時間予約表に記載されている「面接時間予約番号」を必ず記載して提出して下さい。
- 作成したエントリーシートは、3月24日～27日12:00までの期間内に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

投函箱設置場所	建物・階	受付時間	
		平日	土曜日
商学部事務室前	1号館8階	9：00～16：30	9：00～12：00
教 務 課	1号館1階	17：10～21：00	9：00～12：00

■ 3月28日(水)～31日(土)：面接日と結果発表

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 3次選考の結果は、3月31日までに各教員の研究室の扉に掲示されます。

※※※※※※※※※ 3次募集終了後の追加募集について ※※※※※※※※※

追加募集が行われる場合には、研究室扉への掲示などで担当教員から別途指示があります。募集申し込みを希望する学生は、自分自身で問い合わせるなどして必ず確認して下さい。

ゼミナール選考の日程

2018年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
11	12	13	14	15	16	17
※2次募集エントリーシート受付 (～16日)		2次募集面接方法の掲示		学位授与式		
18	19	20	21	22	23	24
※2次募集面接期間 (～23日)			春分の日	2次募集結果発表 3次募集有無の発表と詳細掲示		※3次募集エントリーシート受付
25	26	27	28	29	30	31
※3次募集エントリーシート受付 (27日12:00まで)		※3次募集面接期間(～31日)			3次募集結果発表 追加募集実施の有無の発表と詳細掲示	

エントリー手順と注意事項

～ エントリーシート作成・面接予約の手引き ～

【エントリー手順】

- ①「エントリーシート」(下左)に、志望ゼミナール名、氏名(フリガナ)、性別、所属、学年、学籍番号、ゼミナール志望動機、自己PRを記入する。
- ②志望ゼミナールを担当する教員の研究室扉に掲示してある「面接時間予約表」(下右)に、学籍番号を記入して面接予約を済ませる。
- ③面接予約をした時間帯の面接予約番号をエントリーシートに記入。
- ④作成したエントリーシートをエントリーシート投函箱に投函して提出(詳細は前ページ)。

「エントリーシート」

提出日：平成 年 月 日

平成30年度 商学部ゼミナール〇 エントリーシート

必ず「ボールペン」で記入して下さい！！！！

志望ゼミナール名	ゼミナール	フリガナ 氏名	性別	男 女
面接予約番号 (例：A-01)		所属	学部	学科
ゼミナール志望動機				
自己PR (取得した資格・語学試験成績や特長など)				

※ 志望ゼミナール名の記載は「無効」となります。(たとえ志望が明確にゼミ名の記載があっても無効です)
 ※ 各研究室に掲示してある面接予約表に記載してある「面接予約番号」を必ず記載して下さい。
 ※ 提出場所：商学部事務室前の提出用 Box (17:30～21:00 は1階事務室)
 ※ 応募締切：1次募集 平成30年12月22日(金) 16:30まで
 2次募集 平成30年3月16日(金) 16:30まで
 3次募集 平成30年3月27日(火) 12:00まで

「面接時間予約表」

平成30年度 ゼミナールⅠ・Ⅱ 面接時間予約表
(1次募集)

【連絡事項】

- ①表に示された時間帯にゼミⅠ(新2年生)・ゼミⅡ(新3年生)の面接を行います。
- ②希望する時間に先着順で学籍番号を記入してください。よくに指定がない限り、一つの欄には二名のみ記入してください(一つの欄に2名以上記入された場合は、1番目の人のみ予約されたのみとなります)。
- ③面接時間帯の予約は1人1席(時間帯)のみです(複数時間帯の予約は禁止します)。
- ④必ず予約した時間帯の「予約番号」をエントリーシートの「面接予約番号」記入欄に記載したうえで、エントリーシートを提出してください(記載のないものは原則「無効」とします)。
- ⑤表の時間帯ではどうしても都合がつかない(講義のない時間帯が全て予約で埋まっているなど)学生は、直接、担当教員にアポイントを取るようにしてください。

※面接希望時間は、なるべく早い時間帯から記入するようにしてください。
 ※複数のゼミナールに重複してエントリーした学生は1次募集「失格」とします。

月・日(曜日)	場 所	面接予約番号	時 間	学 籍 番 号
1月10日 (水)	研究室	A-01	10:00～10:15	
		A-02	10:15～10:30	
		A-03	10:30～10:45	
		A-04	10:45～11:00	
		A-05	11:00～11:15	
		A-06	11:15～11:30	
		A-07	11:30～11:45	
		A-08	11:45～12:00	
		A-09	13:15～13:30	
		A-10	13:30～13:45	
		A-11	13:45～14:00	
		A-12	14:00～14:15	
		A-13	14:15～14:30	
		A-14	14:30～14:45	
		A-15	14:45～15:00	
		A-16	15:00～15:15	
		A-17	15:15～15:30	
		A-18	15:30～15:45	
		A-19	15:45～16:00	
		A-20	16:00～16:15	
		A-21	16:15～16:30	
		A-22	16:30～16:45	
		A-23	16:45～17:00	

【注意事項】

- ※エントリーシートの必要記入事項(整理番号を除く)はすべて記入して下さい。
→ 記入漏れがあったものはエントリー無効となる場合があります。
- ※複数のゼミナールにエントリーする「重複エントリー」が発覚した場合、その募集エントリーは無効となります。

平成30年度 商学部第一部ゼミナール I (新2年生) 募集一覧表

「選考方法」について別途連絡事項がある場合は、平成30年3月12日(月)以降、各研究室の扉に掲示されます。

学科	氏名	選考方法	面接会場	その他連絡事項(持参物)等	募集人数
商学科	赤城 諭士	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	数名程
商学科	浅川 哲郎	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	7名程
商学科	朝日 亮太	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	6名程
商学科	菊池 英貴	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	3名程
商学科	草野 真樹	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	0~3名程
※兼任	古賀 弥生	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	10名程
商学科	根本 篤司	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	8~10名程
商学科	原 康記	面接・成績・エントリーシート	研究室	なし	数名程
商学科	平川幹和子	面接・成績・エントリーシート	研究室	研究室オリジナルのエントリーシートがあります。研究室のドアに掲示しますので、面接時に記入済みものを必ず持参して下さい。	3名程
商学科	三浦 弘次	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	5名程
商学科	吉川 敬介	面接・成績・エントリーシート	研究室	エントリーシート・成績原簿のコピーを当日持参(※エントリーシートは提出前に要コピー)	10名程
商学科	渡邊孝一郎	面接・成績・エントリーシート	研究室	事前アンケートがあります。研究室のドアに掲示しますので、面接時に記入済みものを必ず持参して下さい	0~5名程

※古賀弥生先生の研究室はN820(1号館8階)です。

平成30年度 商学部第二部ゼミナール I (新2年生) 募集一覧表

学科	氏名	選考方法	面接会場	その他連絡事項(持参物)等	募集人数
商学科	新田町尚人	面接・成績・エントリーシート	研究室	成績原簿のコピーを当日持参	7名程

目 次

<商学部 商学科 ゼミナール I > (50 音順)

➤ 赤城 ゼミナール	1
➤ 浅川 ゼミナール	2
➤ 朝日 ゼミナール	3
➤ 菊池 ゼミナール	4
➤ 草野 ゼミナール	5
➤ 古賀 ゼミナール	6
➤ 根本 ゼミナール	7
➤ 原 ゼミナール	8
➤ 平川 ゼミナール	9
➤ 三浦 ゼミナール	10
➤ 吉川 ゼミナール	11
➤ 渡邊 ゼミナール	12

<商学部 第二部 ゼミナール I >

➤ 新田町ゼミナール	13
------------	----

赤城ゼミナール I

◎演習テーマ

簿記・会計の基礎を学ぶ

担当教員：赤城 諭士

担当科目：財務会計の基礎、財務会計論

演習概要、演習計画

2年生のうちには基礎学力を固めること、また、ゼミナール形式の授業に慣れることを目標とします。簿記の知識としては、日商簿記検定3級を合格できるだけの力を付けていきましょう。また、会計学を学ぶうえでは、株式会社とはどのようなものかという知識も必要になります。私が担当する講義科目である「財務会計の基礎」と併せて受講してもらうことで、株式会社の仕組み、そして社会における会計の役割について理解を深めてもらいたいと思います。

具体的な内容ですが、簿記の知識が不足しているようであれば、前期のうちには簿記を学習していきたいと考えています。上述の通り、日商簿記検定の3級程度の内容です。1年次に簿記入門を受講していることと思いますが、簿記の仕組みや会社の行う取引についてももう少し理解を深めてもらいます。

その後は、会計学の入門書を輪読しながら、会計の基礎について学んでもらう予定です。予定している本は、主人公が商売を始め、株式会社を設立し、上場するという物語仕立てになっており、そのなかで簿記・会計がどのような役割を果たしているかを描いたものです。会計以外の内容も含まれており、商学部で勉強する基礎を理解するうえでも役立つと思います。

学習の進み具合によっては、上場企業のなかから1社ないし同一業界に属する2・3社を選んでもらい、実際に財務諸表の分析をしてもらうことも考えています。学習内容については、応募してくれた学生のレベルに応じて多少の変更があるかもしれませんが、簿記・会計に興味のある人は応募して下さい。

教科書・参考文献

浦崎直浩編著『これから学ぶ会計学』（中央経済社）を予定しています。

履修しておくことが望ましい科目

簿記入門、初級簿記

受講希望者への要望

簿記入門および初級簿記の学習内容を復習し、理解しておいてください。それとゼミ活動に積極的に取り組んでくれることを希望します。遅刻・欠席をせず、ゼミでは必ず発言をしてください。

浅川ゼミナール I

◎演習テーマ

商業簿記（日商簿記検定 3 級レベル）と企業分析

担当教員：浅川 哲郎

担当科目：管理会計の基礎、原価計算論

演習概要，演習計画

浅川ゼミナールでは税理士や公認会計士などの会計専門職をはじめ、会計を用いる金融関係や事務職を志望する学生に会計を勉強する機会を提供する。具体的に 2 年生対象のゼミナール I では、11 月の簿記検定 3 級を目指して商業簿記の学習を行う。前期はテキストを用いて基本的な仕訳を学習し、後期には過去問を用いて実践的な練習を行う。より試験に「受かりやすい」指導を行う予定である。11 月の試験の後は、トヨタ自動車や日立製作所など日本を代表する企業やハーバード大学病院など著名な医療機関の財務面を分析し、プレゼンテーションを行う機会を持つ。

会計関係の知識を持つ学生の社会的なニーズは高く、本ゼミは 2007 年の開設以来、2017 年 3 月の卒業生までで 9 期の卒業生を輩出しているが、鳥越製粉、東芝ライテック、コマツ製作所など一流の製造業からセブンイレブン、JA、自動車ディーラーなどの流通業、更には金融機関、医療機関、事務職公務員や警察官、消防士など幅広い進路を誇っている。



(写真：ハーバード大学医学部)

教科書・参考文献

「合格テキスト日商簿記 3 級」TAC 出版

履修しておくことが望ましい科目

初級簿記関係科目

受講希望者への要望

11 月の日商簿記検定 3 級を受験する人を希望する。また、積極的にプレゼンテーションや企業訪問に参加する学生を歓迎する。

朝日ゼミナールⅠ

◎演習テーマ

インフラ産業（交通企業、電力会社、携帯電話会社等）を知ろう！

担当教員：朝日 亮太

担当科目：交通論・ロジスティクス論

《演習概要》

朝日ゼミでは、インフラ産業を中心に上げます。インフラ産業とは、JR九州や航空会社（JAL）等の交通産業、九州電力等の電力産業・ガス産業、携帯電話産業などの社会の基盤となる製品・サービスを提供する産業のことです。これらの産業は、近年、政府規制の緩和等により、大きな変化を遂げています（例：格安スマホの普及、交通企業の赤字路線の撤退など）。ゼミでは、インフラ産業の現状やインフラ産業への政府の関わり方について理解し、今後の産業の変化、それに伴う社会の変化について考えていきます。観光業や物流業などの交通企業とも関わりが深い産業、そして、インフラに関連した「まちづくり」、空港などのインフラ経営について関心のある学生も歓迎します。

《演習計画》

ゼミは、基本的に毎回学生の2～3名の報告を中心に進める予定です。報告テーマは学生が新聞記事等から関心のあるものを選択します。そして、そのテーマについて調べたことを繰り返し報告してもらうことにより、理解を深め、発表力のレベルアップを図ります。

状況に応じ、グループ研究に切り替えることもあります。

《受講に向いている学生》

- インフラ産業・観光業・物流業やまちづくり等に興味がある学生
- ルール・マナーを守り、苦手なことでもコツコツと継続的に取り組める学生
- どんな知識・経験もこれからの人生に役立つと考え、ゼミ活動に参加できる学生

《受講を決める際の留意点》

- 遅刻・無断欠席等の行為に対しては、ゼミ規則のもと、減点、除籍等の処分を科します。
- 旅行等のイベント企画は、原則学生主体で行います。実施の場合、基本、全員参加です（費用は自己負担）。
- 見学会、他ゼミナールや外部の方との交流会は、基本的に全員参加。
- 担当教員のほうから、観光地巡り、食べ歩き遠征等を企画することがあります（こちらは参加自由）。

教科書・参考文献

演習内で指示します。

履修しておくことが望ましい科目

商学入門、マーケティング入門、経営学入門、経済学入門等の入門科目

受講希望者への要望

- 「担当教員と楽しくやっていけるか」を説明会や面談を通じて、的確に判断してください。
- ゼミの目標は、「楽しい思い出を作ること」です。そのために、学生さんには積極的にイベント企画をしてもらいたいと思います。教員は最大限のサポートをします。
- 朝日ゼミでは、発表でもイベント企画でも「とりあえず、やってみる」ことを求めます。失敗してもいいので、その「経験」を活かして、次をよくするための方法をゼミで身につけてもらいたいと考えています。

ゼミの進め方

教員による
レクチャー



実践

学生の
報告



繰り返して
理解を深める

課題検討
発表の改善



菊池ゼミナール I

◎演習テーマ

いい会社とは：経営管理論、経営戦略論から考える

担当教員：菊池 英貴

担当科目：経営管理論史

演習概要、演習計画

本ゼミでは、「いい会社とはどんな会社」という観点から、経営管理や経営戦略の理論をもとに研究します。企業に関するニュースなどに関心を持ち、その現象が経営の理論的にはどう解釈できるのか検討します。そこで経営に関する文献や新聞記事などを調べ、発表してもらいます。たとえば、株式会社の生成やビッグ・ビジネス誕生の歴史について参考図書をもとに調べます。そうした経営が今日の企業経営にどのような影響を及ぼしてきたかを調べ、経営に関する理論の基礎を理解していきます。また、理論だけでなく普段から企業経営に関わる様々なニュースに関心を持つことが必要です。

取り上げる事例

- ・日本に株式会社や銀行を普及させた**渋沢栄一**について（みずほ銀行、東洋紡、王子製紙など 500 以上の会社設立にかかわった）
- ・現在でも世界のトップに君臨する企業を興した**ロックフェラー**
- ・**宅急便事業**の誕生について（ヤマト運輸がなぜ宅急便をはじめたか）
- ・米国自動車産業の創成期の競争戦略（**フォード社・GM 社**） など

これらの事例を調査・発表し、経営に関する理論を理解していきます。

「いい経営」、働く人にとって「いい会社」とはどんな会社か考えていきます。

日々発生する企業に関するニュースについて調査・報告してもらいます。

単位取得のためではなく、就職活動などで「これを研究した」といえるようになることを目指します。

教科書・参考文献

ゼミ時に指示（何冊か購入してもらいます）

履修しておくことが望ましい科目

専門科目でも基礎教育科目でも受講した科目から何かを学び取ること。

受講希望者への要望

学習意欲の高いこと。欠席・遅刻を絶対しないこと。病気・クラブなどで休む時は必ず連絡すること。1 年次 38 単位（GPA2.0）以上取得していること。課された課題は必ずしてこること。**経営管理論史を必ずまじめに受講**すること。生徒ではなく学生として受講できる人を希望。

草野ゼミナール I

◎演習テーマ

歴史を通じて現代の社会経済問題を考える（基礎編）

担当教員： 草野 真樹

担当科目： 商業史，日本商業史，近代流通史

演習概要，演習計画

ゼミナールの学習目的は、経済と歴史問題に興味・関心をもつ「きっかけ」を得ることです。そのためには、教員から与えられる課題ばかりではなく、自分自身で「問い」を立て、調べる作業が必要です。ゼミ I では、まずそのために必要な基礎力を身につけるため、以下のことを実施します。

- ① 語彙・読解力を向上させるための各種ドリル（毎回 20 分程度）
- ② レジメおよびレポートを書くための基本学習
- ③ 個人で興味・関心を抱く問題について調べ、順番に発表しディスカッション（主に前期）
- ④ グループで興味・関心を抱く問題について調べ、順番に発表しディスカッション（主に後期）

到達目標

- 1) 経済と歴史問題に興味・関心が高まる
- 2) グループによる共同作業に慣れる
- 3) 人前で話す(発表する)ことに慣れる
- 4) 「他人の意見から学ぶ」ことの重要性を感じる

* ゼミナールの学習は、単に単位の取得を目的とするのではなく、自ら学ぼうとする意欲、自主的な取り組みがとても重要です。

下記の「受講希望者への要望」に賛同してくれる方のみ応募を期待します。また、グループ学習に意欲を持つ方を歓迎します。

教科書・参考文献

適宜，紹介します。

履修しておくことが望ましい科目

商学入門，経済学入門，経営学入門など。

受講希望者への要望

(1) ゼミナールは演習科目であり、毎回、出席することが原則です。したがって、無断での欠席や遅刻は厳禁です。正当な理由（忌引、大学の公式行事への参加など）がある場合は、事前・事後に必ず届け出ること。

(2) 一般的なマナー（ゼミ中の携帯電話やスマートフォンの使用を禁止します）を守ることができない人の参加は、最初からお断りします。また、約束した時間を守らない人、ルーズな人（たとえば、授業開始時間にいつも 5～10 分程度遅刻してくるような人）も遠慮して下さい。

* ゼミナールの面接時に、「頑張ります!!」「約束を守ります!!」「グループワークに積極的に参加します!!」と答えてくれることはうれしいのですが、残念ながら、その後、その約束をととても簡単に破る学生がいます。また、自らほとんど話さず、行動も起こさない学生もみられます。そのような学生の応募は、ご遠慮願います。

社会で活躍する人となるために必要なことは、大学で学ぶ専門知識などに加え、周囲から信用される人間性です。

古賀ゼミナール I

◎演習テーマ

ソーシャルビジネスについて～非営利組織を中心として～

担当教員：古賀 弥生

担当科目：ゼミナール I

演習概要、演習計画

1. 目的

環境、福祉、子育て支援、まちづくりなど多様な社会課題の解決のために、NPO、市民、企業など様々な主体が協力し、ビジネスの手法を活用して取り組むのがソーシャルビジネスです。特に地域に特有の課題をテーマとする場合はコミュニティビジネスと呼ばれることもあります。古賀ゼミでは、ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスを展開する非営利の組織を中心に研究対象とし、その理念や手法、関わる人々の「志」を学ぶことを通じて、学生の皆さんの体験の機会と視野を広げることを目的とします。

2. 概要

文化の力を活用して地域や社会をよりよいものにする活動に取り組む福岡の団体、特にNPOを中心に事例を研究します。資料による事前調査の後、活動者へのヒアリング、活動現場への参画を行い、レポートにまとめ、発表します。

3. 活動計画

1人またはグループで担当する団体を決め、事前調査、ヒアリング、見学を順次行います。また、前期・後期、それぞれ1回ずつ、文化活動を通じた地域づくりに関わるイベントに実習として準備段階から参加します。

4. 留意点

- 授業時間外、土日の活動もあります。スケジュールは受講者の都合も含めて調整します。
- 欠席は他のメンバーや学外の協力者への迷惑となりますので、出席状況は重視しますし、遅刻・欠席の場合には連絡をきちんとするなど、大人として当たり前の行動を求めます。
- 学外の方との連絡調整も学生に担当してもらう場合があります。社会人の方と接する機会が多いため、それなりのマナーを守ってください。
- このゼミは1年間限定の開講です。Ⅱ以降は開講しませんので注意してください。

教科書・参考文献

演習内で適宜、紹介します。

履修しておくことが望ましい科目

受講希望者への要望

この演習では教員（や学外の方）が学生に「知識を与える」ことはあまりありません。「機会を提供」するので、自ら学び取る姿勢を持って参加してください。受身でいると得るものはないかも。

根本ゼミナール I

◎演習テーマ

リスク・保険に関する研究

担当教員： 根本 篤司

担当科目：ファイナンス入門、保険論、リスクマネジメント論

1. ゼミナール（通称ゼミ）は何をすところか。

(1) ゼミナールは、担当教員の指導を受けながら、自ら抱いた世の中への関心や問題（ときに怒り！）を、知的かつ積極果敢に解き明かしていく空間です。教員をはじめゼミの仲間は、討論や議論、模擬店運営といった実践、そして研究活動を通じて、この知的な冒険に挑んでいきます。

(2) またゼミナールは、損得勘定や掛け値なしに話せる仲間と出会える空間でもあります。同じ苦楽を共にすると、やがて同学年の間で、また先輩と後輩との間で、ゼミの仲間意識が生まれます。ゼミ生同士ときどき衝突することもあります。それすら仲間意識を深めるきっかけになることでしょう。卒業後に何年、何十年と経ってから、遠慮なく笑い話ができる仲間になれるよう共に成長して下さい。

(3) 上記のゼミ活動を通じて、弊ゼミは、とくに考え抜くこと、大人としてのコミュニケーション（気配りや気遣い、他人への感謝、協力的な行動）を身につけることを目指します。

2. 2017 年度の活動実績

ゼミナール I を週 1 回開催(全 30 回)、熊本で夏合宿を執行(9 月)、香椎祭で模擬店を出店(11 月)、商学部グループ研究会で研究発表(12 月)、懇親会(随時)、その他サブゼミ(随時)など。

※1 原則全員参加。ゼミにかかる費用は全額自己負担です(昨年度の総額は 3 万円程度)。

※2 交通手段の確保、宿泊地の手配、業者との交渉などは、すべてゼミ生が担当します。



3. 履修上の諸注意

- ①ゼミナール I の遅刻・欠席・早退は認めない。(公欠扱い、やむを得ない事情は除く)
- ②履修科目について修学意欲があり、そのための努力を厭わない(修学状況によりゼミナール II の履修を認めない場合がある)
- ③ゼミ関係者とのコミュニケーションをおろそかにしない。
- ④ゼミ開催日のアルバイトや所用等は控えて下さい。

教科書・参考文献

ゼミ内で適宜指示します。

履修しておくことが望ましい科目

いずれの科目も研究活動に欠かせません。履修科目の単位修得に努めて下さい。

受講希望者への要望

まもなく 1 年目の大学生活を終えます。大学で何をすべきだったのか、大学は何をすところなのか、この機会によく考えて下さい。保険の専門知識がなくとも今は構いません。これから一所懸命に学ばばよいだけです。スタートは皆同じです。ただし、一度決めたのなら最後までやり抜く意欲(覚悟)を持って下さい。その答えを面接で楽しみにしています。

原ゼミナール I

◎演習テーマ

日本経済入門

担当教員：原 康記

担当科目：経営史、現代経営史、日本経営史

演習概要

日々報じられている経済に関するニュースの真の意味を理解するには、その基礎となる経済の仕組みや専門用語を理解しておく必要があります。また、現在、起きている様々な経済現象または出来事は、偶然起きているのではなく、歴史的な出来事の積み重ねの上で起きたことであると考えられます。したがって、現在の経済をより良く理解するには、歴史的に振り返ることも必要でしょう。本ゼミでは、今の日本経済をより良く理解するための基礎を学ぶことをめざします。

演習計画

ゼミの基本的な進め方は、①教科書を適当に区分してそれぞれの担当者（発表者）を決める、②各担当者は自分の担当箇所を熟読し、知らない用語などを辞書、事典、その他の参考図書などで調べ、教科書の文章の意味が理解できるようにする、③担当箇所を要約してレジュメ（説明資料）を作成し、人数分コピーして配布する、④担当箇所を発表（プレゼンテーション）する（教科書の著者に代わって主張すると同時に自分の意見も加える）、⑤担当者以外のゼミ生は担当者に質問し、担当者はそれに答える、というもので、一般的にゼミナールでおこなわれているものです。したがって、大人数教室でおこなわれる一般の講義と異なって、期末試験はありませんが、普段の取り組み姿勢が評価されます。

※ゼミ教室での授業以外に各種のガイダンス（キャリア支援等）や講演会等が開催される場合、ゼミナールの一環として参加することがあります。

教科書・参考文献

未定。新年度の講義開始までに出版される本（現在未刊のもの）を含めて選択します。

履修しておくことが望ましい科目

1年次の「大学入門」と「入門ゼミナール」の単位を修得していること。

受講希望者への要望

受講態度が悪い場合（例えば、授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作をしているなどの場合）、成績評価がD（不可）となります。遅刻は2回につき1回欠席したものとみなし、欠席が多い場合も成績評価がD（不可）となります。

平川ゼミナール I

◎演習テーマ

パーソナル・ファイナンスの知識の獲得

担当教員：平川 幹和子

担当科目：e コマース論

演習概要、演習計画

平川ゼミナールでは次のようなことを行います。

2 年生ゼミ（ゼミナール I）では、国家資格であるファイナンシャル・プランニング技能士の取得のため、9 月の試験で全員が 3 級を、翌年 1 月の試験で 9 月に 3 級が取れなかった者が受験し、2 年次に 3 級の完全合格を目指します。このため、9 月の試験前には集中講座（2 週間程度）を行います。さらに、後期には自らのライフプランの作成を行い、若いうちから資産運用になれることを目的に、自分で稼いだお金を株式や投資信託などに実際に投資する準備を行います。（※平川は日本 FP 協会所属のファイナンシャル・プランナーです）

3 年生ゼミ（ゼミナール II）では、FP2 級の取得を目指しながら、自分の余剰資金で資産運用を実行します。さらに、「自分たちでしたいこと」を探し、企画を立て、実行します。企画は何でもよく、毎年、ゼミナールに入ってくる学生によってやるものが違います。

【今までの企画】

- オープンキャンパス「学内見学ツアーの改善」
- とにかく株取引をやってみよう！
- 朝倉市の居酒屋の売上を倍増する「地域密着型 居酒屋再生プロジェクト」
- 楽しい大学生活を送ろう！「ワンコイン・フットサル大会」

4 年生ゼミ（ゼミナール III もしくは卒論ゼミナール）では、3 年生ゼミの続きを行いながら、資産運用で行った企業研究を就職活動に活かしつつ、徹底的に自己 PR および志望動機を作り上げ、就職先を見つけます。

【ゼミ生の就職先】

エスタ、エバーライフ、大和冷機工業、日本 e リモデル、JA さが、九州ひぜん信用金庫、セブンイレブン・ジャパン、明治屋産業、ドラッグストアモリ、ショージ、マーキュリー、アートコーポレーション、ダイレックス、デンヒチ、ホシザキ北九、コメリ、日本年金機構、海上保安庁、西日本フードなど

【その他】資格試験受験日に打ち上げあり。ゼミ旅行等は学生が企画すれば実施。

教科書・参考文献

適宜指示します。

履修しておくことが望ましい科目

平川が教える e コマース論を必ず履修してください。

受講希望者への要望

皆さんの将来を意識し「社会人として当たり前のこと」を基準に指導を行うため、時には厳しく接します。埋もれている才能を掘り起こされたり、磨かれたりするのには、たまに痛い思いをするかもしれませんが、その覚悟がある人を求めます。平川の指示を守らない人は、その場で失格になる場合があります。

三浦ゼミナール I

◎演習テーマ

マクロ経済学の基礎学習

担当教員：三浦 弘次

担当科目：EU 制度論、EU 経済論、マクロ経済学

演習概要、演習計画

本ゼミナールでは、マクロ経済学の教科書を輪読し、マクロ経済学の基礎を身につけます。これによって現実経済の動きを理解できるようにします。

各回のゼミナールでは、ゼミナール生の担当者が教科書の各章について要約を作成して報告します。そのうえで、皆で疑問点、議論のテーマを出しあって議論をし、教科書の内容について理解を深めます。

マクロ経済学は、理論モデルと統計データを用いて一国の経済の現実を分析・把握する手段です。政府の経済政策に具体的な指針を与える重要な学問分野でもあります。これがわかれば現在、政府の政策がわれわれの生活や将来にとってどういう意味を持つかといった問いに、かなり正確な答えを自分で見つけることができるようになるでしょう。

教科書・参考文献

『マクロ経済学・入門』第5版（有斐閣アルマ）2016、福島慎一、他。

履修しておくことが望ましい科目

マクロ経済学、ミクロ経済学、金融論

受講希望者への要望

マクロ経済学の知識を身に付けるには、講師の厳しい指導にも耐える覚悟が必要です。ゼミを欠席することは論外です。

吉川ゼミナール I

◎演習テーマ

研究・調査方法の習得 ～ 東南アジア地域研究の実践 ～

担当教員：吉川 敬介

担当科目：経済学入門、貿易論、アジア経済論、特別講義IX

演習概要，演習計画

グループワークによる「地域研究」

- ▶ 全員が主体的に取り組むことを前提として、グループワークを行ないます
- ▶ PDCA (Plan-Do-Check-Action)サイクルと考えるチカラを習得します
- ▶ グループワークにより「社会的常識・モラル」を醸成します
- ▶ 「学生生活に必要な人間関係」を積極的に構築します
- ▶ 地域研究を通じて東南アジア諸国に関する一般的な「国際関係 (政治・経済)」について学びます

ゼミ応募上の注意 ～ 約束事と厳守事項

※※※※ 当ゼミは「1年間限定」のゼミナールです。(ゼミⅡ以降は開講しません) ※※※※

- ▶ 以下に該当する学生は、ゼミ運営に支障をきたすため応募禁止とします
 - ・陰で他者の悪評や文句を振りまく
 - ・「めんどくさい」「だるい」が口癖
 - ・「でもでもだって」が口癖
 - ・他者の気持ちや状況を考えない
 - ・無断で遅刻や欠席をする
 - ・〇回まで休んで良いやと思っている
 - ・好きなことだけ一生懸命
 - ・「人見知り」という言葉を免罪符に使う

▶担当教員からのメッセージ

「因果応報」「後悔先に立たず」「覆水盆に返らず」など、限られた時間を有意義に使えなかった後悔は将来必ずやってきます。よって大学生活を楽しくするのつまらなくするのも自分次第であり自己責任です。1年間で自分を徹底的に鍛えたい人、主体的に自己研鑽(けんさん)をはかりたい人、そして成長を望む「向上心」を忘れない人のみ応募して下さい。

教科書・参考文献

- ・文献等については必要に応じて紹介します。

履修しておくことが望ましい科目

- ・経済学入門、貿易論

受講希望者への要望

- ・ゼミ生同士の相手に敬意を払うことを忘れずにコミュニケーションを積極的にとること。
- ・本気で取り組むことを恥ずかしいと思わないこと。また主体的かつ創造的に取り組むこと。

渡邊ゼミナール I

◎演習テーマ

地域商業とまちづくり（基礎編）

担当教員：渡邊 孝一郎

担当科目：商学入門、流通ビジネス論、流通政策論

演習概要，演習計画

演習概要

本ゼミナールでは、地域商業の活性化や商業によるまちづくりについて考えていくゼミです。
多くの地方都市で中心市街地が停滞・衰退傾向にあるなかで、そこに立地している地域商業も多くの課題を抱えています。そのような地域商業をどうやって活性化させていくか、同時にその地域もどうやって活性化していくべきかについて、各地の事例を調べながら研究していきます。
例えば日ごろから

- ◎自分が住んでいる・好きな街を元気にしたい
 - ◎自分がよく行くお店・好きなお店をより詳しく知りたい
 - ◎今の流通システムや流通政策に不満がある（買い物に不満がある）
- といった考えを持っている学生であれば、適任です。

演習計画

ゼミナールの進め方としては、個人研究とグループ研究を予定しています。

- ◎まずは個人のプレゼン能力やレポート作成能力の向上支援を目指します
- ◎グループ研究では、グループ毎にテーマを決め、勉強・調査をしてもらいます
- ◎中間報告を含め、随時グループ対抗のプレゼン発表会を行います
- ◎必要があれば、実際に現地調査も行います



教科書・参考文献

必要に応じて指示します。

履修しておくことが望ましい科目

商学・流通系の関連講義

受講希望者への要望

ゼミナールは皆さんが主役です。皆さんの向き合い方でゼミの雰囲気・方向性も大きく違ってきます。有意義で充実したゼミにするためにも、積極的に参加・協力してくれる学生を希望します。また、ゼミ説明会や個別訪問などで事前にゼミの雰囲気を掴んでおくことをお勧めします。

新田町ゼミナール I

◎演習テーマ

経済と経営の問題を考える

担当教員：新田町尚人

担当科目：地域金融論、経済学入門

演習概要、演習計画

経済学を学ぶ際に困惑するのは、「**実際に発生している問題点への解決策がひとつではない**」、ということです。現在の世界では、米国でのトランプ政権誕生、英国のEU離脱など、経済のグローバル化が及ぼすメリット、デメリットが関心を集めています。

一方で、経営学を学ぶ際に戸惑うのは、「**実際の企業が異なる制度や手法を採用している**」、という点です。例えば、「**成果主義**」を採用して高い実績を残した人を優遇するのか。「**年功序列**」を採用して将来の実績発揮の可能性に期待するのか、いくつもの方法が使われています。

就職活動を行う上でも、志望企業がどのような制度を持っているのかは重要なポイントです。

このゼミでは、経済学や経営学での争点について、学生の皆さんとの議論を通じて問題を深く掘り下げ、考える力を養います。

★たくさんのエントリーをお待ちしています！

本ゼミナール担当教員の紹介

職歴：通信社の証券担当記者、食品専門新聞の記者
経営コンサルタント（賃金制度、顧客満足度向上、研修講師）
2016年度より九州産業大学商学部の講師

資格：証券アナリスト協会検定会員（証券アナリスト）
経営品質協議会セルフアセッサ

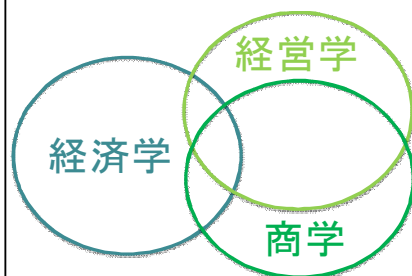
<長所>

・担当講師は、大学院で経済学を、職業で経営学に関与していました。
→**経済と経営の両方を指導できる講師は少ないと思います**（自慢①）

・担当講師は、多くの業界、多くの職業に対する知識が豊富です。
多くの企業に履歴書を送り、多くの面接を受けてきました。
前職は経営コンサルタントです。会社の内情には詳しいです（自慢②）
→**将来の職業や就職活動について、多くのアドバイスが可能です**

<短所>

・九州産業大学に来て、2年弱しか経っていません。
→九州について、まだ知らないことが多い。知り合いも少ない。



教科書・参考文献

テーマに対応する形で授業中に指示します。

履修しておくことが望ましい科目

1年次全員履修科目。

受講希望者への要望

毎回出席が基本です。話し合いに参加しない学生、スマホばかり眺めている学生はいりません。学期途中でも、その後のゼミ参加を認めない場合があります。